

海の生き物観察講座 ～磯の生き物編～(三豊市会場) 開催しました！



- 日時 令和4年5月29日(日) 14:00～16:00
- 会場 大浜海岸
- 講師 山田 富士夫 氏 (かがわ里海ガイド)
- 講師アシスタント 木村 晃子 氏 (海の生き物観察力向上講座修了生)
田中 真利子 氏 (かがわ里海ガイド)

5月29日(日)に、三豊市詫間町大浜の大浜海岸にて、「海の生き物観察講座～磯の生き物編～」を開催し、17名が受講しました。本講座は、海辺の生き物観察を通して、生物への関心や里海への関心を深めることを目的とし、開催しました。

講師の紹介のあと、グループに分かれて自己紹介を行いました。まず講師から、海辺の観察では足元をよく見てゆっくり歩くこと、危険な生き物はそっとしておくこと、こまめに水分補給をするなど、注意事項についての説明がありました。



歩いて海岸に移動した後、調査記録シートの説明がありました。瀬戸内海の海岸生物調査では、20種類の指標生物の生物量を観察することによって、水質の評価や生物環境の評価が可能であると説明がありました。また、磯の生き物の見つけ方のコツとして、潮が引いた後に海水が残留してできる潮だまり、大きな岩の隙間や小さな岩の裏側にたくさんの生き物が生息していることを教わり、グループに分かれて調査を開始しました。



潮が引いた岩場では、「カメノテ」、「アオサ」、「ヒザラガイ」が多く生息し、小さな岩の水たまりには「イボニシ」、「ウノアシガイ」、潮だまりには「ムラサキウニ」、「タツノオトシゴ」、「マダコ」などの生き物が観察できました。受講者は、講師の解説を聞きながら調査記録シートに記入し、採取した生き物を容器に入れ、グループごとに採取した生き物を発表しました。採集した生き物は、観察後に海へ返しました。また、海に捨てられたごみ袋の中に生きたカニが入って出られなくなるなど、海ごみの問題についても講座を通じて学ぶ事ができました。



漁港に戻り、今回観察できた指標生物の種類と量を集計し、調査記録シートのまとめを行いました。今回の観察結果では、海の水質は「きれいな海」で、生物環境は「豊か」であることが分かりました。最後に講師から、毎年調査に参加することで海の変化を感じる事ができるので、「来年もまた参加して欲しい」というお話がありました。受講者からは、「たくさんの生き物を見る事ができて楽しかった」、「海岸にたくさんのごみがあり、ごみ拾い活動に参加したい」などの声が上がりました。